

暮らしを彩る和菓子
夏の贈りものに「とらや」の水羊羹

日々めまぐるしく変化する現代。少し立ち止まって日本の素晴らしい文化を振り返ってみるのもよいものです。

「お中元」は、季節の変わり目に、その時季にちなんだ品を贈り、日頃の感謝を伝え、久しぶりの無事を確かめ合う、日本の昔ながらの風習です。四季のある日本、歴史の長い日本だからこそ育まれた素敵な文化といえます。いつもはメールや電話でしかやりとりしていない相手に、手書きのお手紙を添えて、スローな『和』の暮らしを楽しむのはいかがでしょうか。人とのつながり『和』を大切に、折節に人と人の心を通わせてきた先人達のコミュニケーションを、今一度、見直してみませんか。

そもそも「お中元」とは？

お中元とは、地域によって異なりますが、おおまかに言うと東日本では7月15日まで、西日本では8月15日までにお世話になった人に贈り物をする習慣のこと。もともとは中国の行事で、1月15日を「上元」、7月15日を「中元」、10月15日を「下元」として行っていた祭のうち、「中元」だけが日本のお盆と結びついて残っています。

誰に贈ればいいの？

お中元は感謝の気持ちを伝えるものですので、誰に贈らなければならないと堅苦しく考える必要はありません。勤務先の上司や恩師、お稽古ごとの先生、離れて暮らしている両親、親しい友人など、「いつもありがとう」という気持ちを伝えたい人に贈ることが一番。

とらやでは・・・

お中元の好適品として、水羊羹をご用意しています。

今年4月1日より、新たに「御膳（こし餡）」の味が新しく加わり、リニューアルした涼やかなパッケージにて販売中。日本には古来、暑気払いとして、小豆や砂糖を使った菓子などを食べる習慣があります。日頃お世話になっている方々へ健やかにお過ごしいただきたいという気持ちを込めた和菓子の贈りものとして水羊羹はいかがでしょう。

種類：「御膳」（新発売）、「小倉」、「黒砂糖」、「抹茶」の4種

販売価格：各1個	346円（320円）
6個入	2,268円（2,100円）
9個入	3,348円（3,100円）
12個入	4,428円（4,100円） 他

販売期間：4月1日～9月上旬予定

販売店：とらや全店

